

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-298509

(43)Date of publication of application : 12.11.1996

(51)IntCl.

H04L 12/28

H04L 12/54

H04L 12/58

H04N 1/00

H04N 1/32

(21)Application number : 07-103617

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 27.04.1995

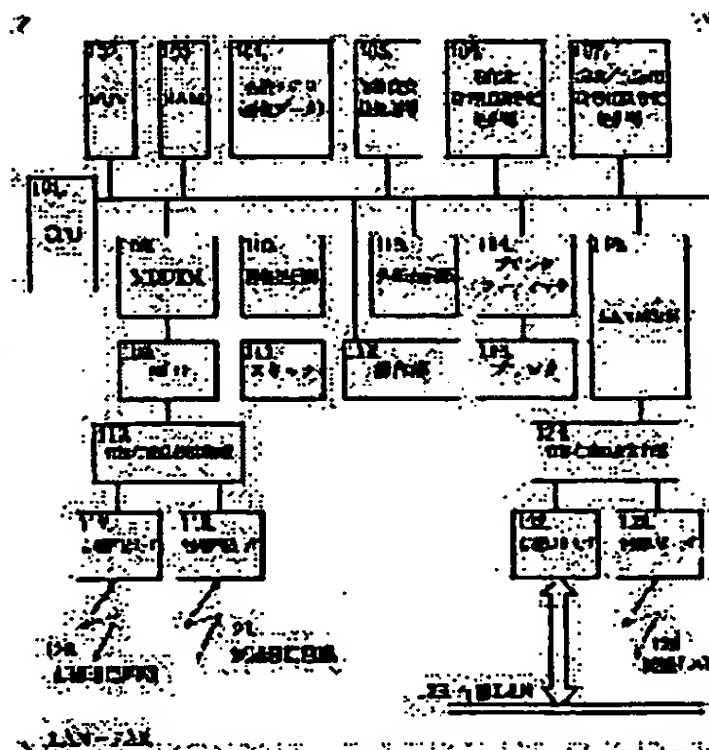
(72)Inventor : IKEDA ATSUSHI

(54) DATA COMMUNICATION EQUIPMENT

(57)Abstract

PURPOSE: To connect data communication equipment to a LAN, to recognize information on notice and transfer to a terminal on the LAN when data from a transmission-side is received and to improve operability.

CONSTITUTION: Management information at the time of reception-notifying another terminal of data received from a cable communication line 120 or a radio communication line 121 through a cable LANi/f122 or radio LANi/f123 or at the time of transferring received data is accumulated in RAM 103.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-29850

(43) 公開日 平成8年(1996)11月

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示
H 0 4 L 12/28			H 0 4 L 11/00	3 1 0 D
12/54			H 0 4 N 1/00	1 0 6 B
12/58			1/32	Z
H 0 4 N 1/00	1 0 6	9466-5K	H 0 4 L 11/20	1 0 1 C
1/32				

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12)

(21) 出願番号 特願平7-103617

(22) 出願日 平成7年(1995)4月27日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 池田 徳

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キ
ン株式会社内

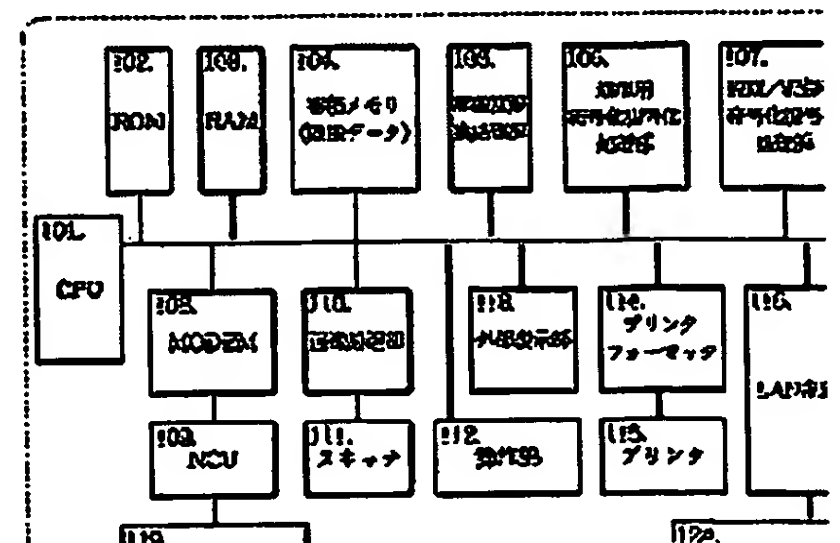
(74) 代理人 弁理士 丸島 敏一

(54) 【発明の名称】 データ通信装置

(57) 【要約】

【目的】 データ通信装置をLANに接続し、送信側からのデータを受信した場合のLAN上の端末への通知や転送に関する情報を認識することができ、使い勝手の向上を図ること。

【構成】 データを有線通信回線120または無線通信回線121から受信したデータを有線LAN1/f122または無線LAN1/f123を介して他の端末に受信通知或いは受信データの転送を行う際の管理情報をRAM103に蓄積する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したことを前記LAN上の端末に通知する通知手段と、前記通知手段で通知すべき端末を表すデータを記憶する通知先記憶手段と、前記通知手段による通知に関わる履歴を記憶する通知履歴記憶手段と、前記通知先記憶手段及び前記通知履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有することを特徴とするデータ通信装置。

【請求項2】 前記通知手段は通知すべき端末に通知できない場合に予め端末毎に設定した代行端末に通知し、前記通知先記憶手段は通知すべき端末及び代行端末を表すデータを記憶することを特徴とする請求項1に記載のデータ通信装置。

【請求項3】 更に、前記LAN上の端末に前記受信手段で受信したことを通知したことを前記送信側に返信する返信手段と、前記返信手段の返信に関わる履歴を記憶する返信履歴記憶手段とを有し、前記出力手段は更に前記返信履歴記憶手段に記憶した内容を入力することを特徴とする請求項1に記載のデータ通信装置。

【請求項4】 LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したデータを前記LAN上の端末に転送手段と、前記転送手段で転送すべき端末を表すデータを記憶する転送先記憶手段と、前記転送手段による転送に関わる履歴を記憶する転送履歴記憶手段と、前記転送先記憶手段及び前記転送履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有することを特徴とするデータ通信装置。

【請求項5】 前記転送手段は転送すべき端末に転送できない場合に予め端末毎に設定した代行端末に転送し、前記転送先記憶手段は転送すべき端末及び代行端末を表すデータを記憶することを特徴とする請求項4に記載のデータ通信装置。

【請求項6】 更に、前記LAN上の端末に前記受信手

信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はデータの通信を行うデータ通信装置に関し、特にLANに接続可能なデータ通信装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、データ通信装置、例えばフロッピー装置をLANに接続し、フロッピー装置側から送られたデータを受信した際にLAN上ソナルコンピュータ等の情報処理端末に対し受信したことを通知したり、受信したデータを転送する知られている。

【0003】 また、通常のフロッピー装置では元電話番号、着信時間、受信枚数といった受信情報を記憶しておき、オペレータの操作等により受信情報を出力するものが一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとしている課題】 しかしながら従来例ではデータの受信があったことを通知したか、受信データが転送されたか否かといった情報することができないといった問題点があった。

【0005】 本発明は上述の問題点に鑑みてなされたので、データ通信装置をLANに接続した場合の手の向上を図るためのデータ通信装置を提供する目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段及び作用】 上記目的するために本発明のデータ通信装置は以下の構成を有する。即ち、LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したことを前記LAN上の端末に通知する通知手段と、前記通知手段で通知すべき端末を表すデータを記憶する通知先記憶手段と、前記通知手段による通知の履歴を記憶する通知履歴記憶手段と、前記通知手段及び前記通知履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有する。これによればデータの受信する通知先の情報及び該通知に関わる情報を認めることができる。

【0007】 また、LANに接続するための接続

10

20

30

40

【特許請求の範囲】

【請求項1】 LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したことを前記LAN上の端末に通知する通知手段と、前記通知手段で通知すべき端末を表すデータを記憶する通知先記憶手段と、前記通知手段による通知に関わる履歴を記憶する通知履歴記憶手段と、前記通知先記憶手段及び前記通知履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有することを特徴とするデータ通信装置。

【請求項2】 前記通知手段は通知すべき端末に通知できない場合に予め端末毎に設定した代行端末に通知し、前記通知先記憶手段は通知すべき端末及び代行端末を表すデータを記憶することを特徴とする請求項1に記載のデータ通信装置。

【請求項3】 更に、前記LAN上の端末に前記受信手段で受信したことを通知したことを前記送信側に返信する返信手段と、前記返信手段の返信に関わる履歴を記憶する返信履歴記憶手段とを有し、前記出力手段は更に前記返信履歴記憶手段に記憶した内容を入力することを特徴とする請求項1に記載のデータ通信装置。

【請求項4】 LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したデータを前記LAN上の端末に転送手段と、前記転送手段で転送すべき端末を表すデータを記憶する転送先記憶手段と、前記転送手段による転送に関わる履歴を記憶する転送履歴記憶手段と、前記転送先記憶手段及び前記転送履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有することを特徴とするデータ通信装置。

【請求項5】 前記転送手段は転送すべき端末に転送できない場合に予め端末毎に設定した代行端末に転送し、前記転送先記憶手段は転送すべき端末及び代行端末を表すデータを記憶することを特徴とする請求項4に記載のデータ通信装置。

【請求項6】 更に、前記LAN上の端末に前記受信手

信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はデータの通信を行うデータ通信装置に関し、特にLANに接続可能なデータ通信装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、データ通信装置、例えばフロッピー装置をLANに接続し、フロッピー装置側から送られたデータを受信した際にLAN上ソナルコンピュータ等の情報処理端末に対し受信したことを通知したり、受信したデータを転送する知られている。

【0003】 また、通常のフロッピー装置では元電話番号、着信時間、受信枚数といった受信結果を記憶しておき、オペレータの操作等により受信結果を出力するものが一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとしている課題】 しかしながら従来例ではデータの受信があったことを通知したか、受信データが転送されたか否かといった情報を知ることができないといった問題点があった。

【0005】 本発明は上述の問題点に鑑みてなされたので、データ通信装置をLANに接続した場合の手の向上を図るためのデータ通信装置を提供する目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段及び作用】 上記目的のために本発明のデータ通信装置は以下の構成とする。即ち、LANに接続するための接続手段と、送信側からのデータを受信する受信手段と、前記受信手段で受信したことを前記LAN上の端末に通知する通知手段と、前記通知手段で通知すべき端末を表すデータする通知先記憶手段と、前記通知手段による通知の履歴を記憶する通知履歴記憶手段と、前記通知手段及び前記通知履歴記憶手段に記憶した内容を入力する出力手段とを有する。これによればデータの受信する通知先の情報及び該通知に関わる情報を認めることができる。

【0007】 また、LANに接続するための接続

10

20

30

40

【実施例】以下、図面を参照して本発明の一実施例を詳細に説明する。

【０００９】（第１の実施例）図１は、本発明の一実施例であるファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【0010】同図において、CPU101は、システム制御部であり、装置全体を制御する。

【0011】ROM102は、CPUの制御プログラムを格納するものである。

【0012】RAM103は、SRAM等で構成され、プログラム制御変数等を格納するためのものである。また、オペレータが登録した設定値や装置の管理データ等や各種ワーク用バッファもRAMに格納されるものである。

【0013】蓄積メモリ104は、DRAM等で構成され、画像データを蓄積するものである。

【0014】解像度変換処理部105は、ラスタデータのミリインチ変換等の解像度変換制御を行なうものである。

【0015】通信用符号化復号化処理部106は、読取時及び記録時の符号化方式と通信時の符号化方式が異なる場合に、通信用に符号化を行なうものである。

【0016】読取／記録用符号化復号化処理部107は、読取時及び記録時に画像データの符号化、復号化処理を行なう。

【0017】MODEM108は、ファクシミリの送受信信号の変復調を行なうものであり、NCU109は、選択信号（ダイヤルパルスまたはトーンダイヤラ）を有線回線1/f117を介して有線通信回線120に、あるいは無線回線1/f118を介して無線通信回線121に送出する機能を有し、呼び出し音の検出による自動着信動作も行なう。

【0018】有線／無線回線制御部119は、有線回線117及び無線回線118の制御を行なう。

【0019】スキャナ111は、CSイメージセンサ、原稿搬送機構などで構成され、原稿を光学的に読み取って電気的な画像データに変換するものである。

・【0020】画像処理部110は、読み取られた画像データに補正処理を施して高精細な画像データを出力する

【0024】プリンタ115は、受信画像やファクタを記録紙に記録する装置である。

【0025】有線LANi/f122は有線LAN5に、無線LANi/f123は無線LAN122、アクセシビリティ装置を接続するためのインターフェース。有線LANi/f122及び無線LANi/f123は有線/無線LAN制御部124によって制御される。

【0026】LAN制御部116は、有線LANは無線LAN上のサーバまたは端末とデータの授受を行うために、データの転送を行なうものである。

【0027】図2は、図1に示したファクシミリ
接続形態の一例を示す概略図である。

【0028】201は、図1に示したファクシミリであり、直接有線および無線LANに接続可能なシミリ装置である。

【0029】202は、該ファクシミリ装置の接続しているLANのサーバマシンであり、LANおよびN上のファイルの管理を行なう。

【0030】203および204は、有線LANに接続されたクライアントマシン（情報処理端末）である。

【0031】205は、クライアントマシンから
ント要求を受け付け、プリンタに出力する制御を
プリンタサーバであり、206は、プリント画像
を出力するプリンタである。

【0032】207は、無線LAN126に設置
クライアントマシンである。

【0033】208は、電話回線120を通して
シミリ装置201と通信を行なうファクシミリで

【0034】209は、無線基地局であり、ファリ装置201と無線回線121を通してファクシ通信を行なう。

【0035】210は、回線網であり、ファクシ
無線基地局を回線網210に接続している電話回
0による通信を行う。

【0036】図3は、本実施例におけるファクシ
機201の通信管理情報を保持するための領域の
構造を示した図である。なお、通信管理情報は、
4) 通信分の情報を保持できるように 図1のR

々の通信に関する相手先の電話番号を保持する領域である。

【0039】相手先略称303は、通信回線を介してファクシミリ伝送の手順で通知された略称、または、送信時に送信側のユーザによって選択された宛先の略称など、個々の通信に関する相手先の略称を保持する領域である。

【0040】通信種別304は、送信、受信、ポーリング、同報、親展、中継、メモリ、タイマ、手動、自動といった要素に加え、LAN上上のクライアントマシンの転送要求を伴う通信か否かを示す要素から構成される、個々の通信の種類を分類するための情報を保持する領域である。

【0041】通信開始時刻305は、個々の通信の開始時刻を保持する領域である。

【0042】通信時間306は、個々の通信の所要時間を保持するための領域である。

【0043】通信終了307は、個々の通信が正常に終了したか否かの情報を保持する領域である。

【0044】ページ数308は、個々の通信によって正常に伝送されたページの数を保持する領域である。

【0045】なお、以上の301から308の各領域には、送信または受信のファクシミリ通信処理が終了するとき、自動的に適当なデータが書き込まれる。

【0046】転送時刻309は、該当する通信がLAN上のクライアントマシンへの転送要求を伴う場合にのみ有効で、要求されたクライアントマシンへの画像の転送が終了したとき、または、要求されたクライアントマシンへの転送ができず、予めクライアントマシン毎に定められた代行先のクライアントマシンへ転送が行われたときの時刻を保持する領域である。

【0047】転送先名称310は、該当する通信がLAN上のクライアントマシンへの転送要求を伴う場合にのみ有効で、要求されたクライアントマシンの名称を保持する領域である。

【0048】代行先名称311は、該当する通信がLAN上のクライアントマシンへの転送要求を伴う場合にのみ有効で、要求されたクライアントマシンへの転送ができず、予め各クライアントマシンに対応させて定められた代行先へ転送が行われたときに使用し、その代行先の

【0051】図4は、受信画像の転送と、通信管の転送に関する領域の見新の処理を詳細に記述し一チャートである。

【0052】まず、ステップS401において、像が存在するか否かを判定する。もし、受信画像するならばステップS402に進み、そうでなければステップS401を繰り返す。

【0053】ステップS402では、ステップSにおいて判定された受信画像が、LAN上のクライアントマシンへの転送要求を伴うものであるか否かを。もし、受信画像がLAN上のクライアントマの転送要求を伴うものであるならば、すなわち、たように、受信処理の終了とともに保持された図信種別304の内容にLAN上のクライアントマの転送要求を示すデータが書き込まれているならステップS403に進み、そうでなければステップ1に戻る。例えば、図3に示された通信管理番号が0001および0002の通信ならばステップ3に進み、通信管理番号301が0003の通信ステップS401に戻ることになる。

【0054】ステップS403では、図3の転送310に、ファクシミリ伝送の手順等で送信側かされた転送先のクライアントマシンへを表す名称し、ステップS404に進む。例えば、図3に示信管理番号301が0001の通信であれば、“10_a”が要求された転送先のクライアント名る。

【0055】次に、ステップS404において、れた転送先のクライアントマシンに画像の転送が否かを判定する。もし、可能であるならばステップS405に進む。

【0056】ステップS405では、要求されたのクライアントマシンに受信通知を行い該画像をLANを介して転送し、転送が完了したならばステップS406に進む。

【0057】ステップS406では、転送が完了刻を、図3の転送時刻309に保存し、ステップ1に戻る。

【0058】一方、ステップS404において、れた転送先のクライアントマシンの電源が切れて

シンの代行先のクライアントマシンに受信通知を行い、該画像データをLANを介して転送し、転送が完了したならばステップS409に進む。

【0061】ステップS409では、図3の代行先名称311に、代行先の名称を保存し、ステップS406に進む。例えば、図3に示した通信管理番号301が0002の通信であれば、要求された転送先のクライアント“nokku_y”への転送ができず、代行先の“ryutarok”に代行転送されたことを意味する。

【0062】以上のステップで、通信管理情報の転送に関する領域が更新される。

【0063】図5は、送信元への返信と、通信管理情報の返信に関する領域の更新の処理を詳細に記述したフローチャートである。この処理は、図4に示した要求されたクライアントマシンに対する受信画像の転送の処理とは非同期に実行される。

【0064】まず、ステップS501において、要求されたクライアントマシンまたは代行先クライアントマシンに対する画像データの転送が完了し、その旨を送信元のファクシミリ装置に知らせなければならない返信待ちの事象が返信待ち行列に存在するか否かを判定する。もし、返信待ちの事象が存在するならばステップS502に進み、そうでなければステップS501を繰り返す。

【0065】ステップS502では、送信元のファクシミリ装置に対する返信の処理を開始し、ステップS503において、返信が終了するのを待つ。

【0066】返信が終了したならばステップS504に進み、返信処理が成功したか否かを判定する。もし、成功したならばステップS505に進み、そうでなければステップS501に戻る。

【0067】ステップS505では、返信が完了した時刻を、図3の返信時刻312に保存し、ステップS506に進む。

【0068】ステップS506では、返信待ち行列から該返信事象を削除し、ステップS501に戻る。

【0069】以上のステップで、通信管理情報の返信に関する領域が更新される。

【0070】図6は、通信管理レポートの印刷処理を示したフローチャートである。この処理は、ユーザのオペレーションによって通信管理レポート印刷の要求を受け

リタ115に送り、通信管理レポートを印刷し、通信管理レポートの印刷処理を終了する。

【0074】以上のステップで、通信管理レポート印刷される。

【0075】図7に、通信管理レポートの印刷結果を示す。

【0076】この印刷結果から、ユーザは以下の知ることができる。

【0077】(1) 通信管理番号が0001、02、および、0005の通信は、通信種別の項目LAN上の特定のクライアントマシンに対する転送を要求していることがわかる。

【0078】(2) 通信管理番号が0003および04の通信は、通信種別の項目から、LAN上のクライアントマシンへの転送を要求をしていないシミリ通信であることがわかる。

【0079】(3) 通信管理番号が0001の通信転送先名称の項目から転送先のクライアント名称ukio_aで、転送時刻の項目から95.0110:15:24に画像の転送が完了し、返の項目から95.04/01 10:20:3送信元ファクシミリ装置に転送完了の旨を返信したわかる。

【0080】(4) 通信管理番号が0002の通信転送先名称の項目から転送先のクライアント名称okku_yだが、何らかの理由で転送ができ項目から代行先として“ryutarok”がれ、転送時刻の項目から95.04/01 12:17に画像の代行転送が完了したが、返信時目から送信元ファクシミリ装置に対して代行転送旨をまだ返信していないことがわかる。

【0081】(5) 通信管理番号が0005の通信転送先名称の項目から転送先のクライアント名称omil_mだが、転送時刻の項目から少なくとも像の転送がまだ行われていないことがわかる。

【0082】(その他の実施例) 前述の第1の実は、図6のステップS603において、ステップ2で成形された通信管理情報を図1のプリンタブタ114を介してプリンタ115に送り、通信レポートを印刷するように記述したが、このステッ

は、情報量は若干減少するものの、少ないRAM容量で同様な効果のあるファクシミリ装置を構築することができる。

【0084】また同様に、第1の実施例では、図3に示すように返信時刻312の領域を用意し、この領域に有効な時刻情報が書き込まれているか否かによって、返信が完了したか否かを識別しているが、返信時刻の領域を単に返信が完了したか否かを保持する返信履歴の領域に変更すれば、情報量は若干減少するものの、少ないRAM容量で同様な効果のあるファクシミリ装置を構築することができる。

【0085】さらに、第1の実施例では、図1に示すように、LANと直接接続するためにLAN制御部116、有線/無線LAN制御部124、有線LANi/f122、および、無線LANi/f123をファクシミリ装置内部に收容するように構成されているが、この部分をいわゆるパーソナルコンピュータなどの情報処理端末に代替させ、ファクシミリ装置に情報処理端末と接続するためのインタフェース手段を收容すれば、より安価で同様な効果のあるファクシミリ装置を提供することができる。

【0086】さらに、第1の実施例では、受信画像をLAN上の特定のクライアントマシンに転送するファクシミリ装置について記述したが、図3の転送時刻309および転送先名称310をそれぞれ通知時刻および通知先名称の領域とし、図4のステップS405およびステップS408を単に受信があった旨の通知のみするように変更し、同図に記述された「転送」を「通知」と読み替え、受信画像をLAN上の特定のクライアントマシンに転送するのではなく、単に受信があった旨をLAN上の特定のクライアントマシンに通知を行い、クライアントマシンのオペレータの操作で受信データを引き出せるようにしてもよい。

【0087】また、本発明は、LANの種類に依存しないことは言うまでもない。

【0088】さらに、第1の実施例では、通信管理レポートとともに転送に関する情報を管理し、かつ、記録するように述べたが、受信画像の転送に関する情報を独立に管理し、かつ、記録しても全く問題はない。

【0089】さらに、実施例1では、符号化された一時

1)、40通信分を越えていない場合は40通信まで通信管理情報を蓄積する。40通信を越えて合、最も古い通信管理情報を検索し(802)、項目をチェックする。

【0091】まず、その通信管理情報に該当するルがクライアントマシンに転送するファイルかどうかチェックする。これは、図3に示す転送先名称のによって判断すればよい。転送先名称のない場合、クライアントマシンに転送するファイルでない10は、その通信管理情報を消去し最新の通信管理情報を記憶する(S806)。一方転送先名称がある場合、クライアントマシンに転送済かどうかを判断す804)。これは転送時刻の有無によって判断すい、転送時刻がある場合、次に送信元に転送結果したかどうかを判断する(S805)。これは返の有無によって判断すればよい。返信済の場合、通信管理情報を消去して最新の通信管理情報を消去の通信管理情報を記憶する(806)。一方転送返信済でない場合は、次に古い通信管理情報を抽て、同様の処理をくりかえす。これによってクラ10マシンに該当するファイルを転送し、転送した送信元に返信することが確実にできるようになる【0092】ここで転送済かどうか(804)、かどうか(805)を時刻によって判断しているとは別に転送済、転送失敗、未転送、返信済、返信失敗、未返信などの項目を別の項目として設けてもこれによって転送失敗、返信失敗などのときも確10ベレータに通知できる。さらに、消去する通信管が1つもない場合には、それ以降の通信を確実にさないで通信をうけつけないようにすることがい。

【0093】以上説明したようにこれら実施例には、ファクシミリ装置201は受信画像が転送さ否かあるいは受信の旨が通知されたか否かといっを紙面に印刷、または、特定のクライアントに配ことが可能になる。

【0094】これにより、管理者あるいはユーザに受信画像の転送や通知の詳細情報を得られるよるだけでなく、印刷または転送された情報によ

を認識することができ、使い勝手の向上を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例であるファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【図2】図1に示したファクシミリ装置の接続形態の一例を示す概略図である。

【図3】図1に示したファクシミリ装置の通信管理情報を保持するための領域のデータ構造を示した図である。

【図4】受信画像の転送と、通信管理情報の転送に関する領域の更新の処理を詳細に記述したフローチャートである。

【図5】送信元への返信と、通信管理情報の返信に関する領域の更新の処理を詳細に記述したフローチャートである。

【図6】通信管理レポートの印刷処理を示したフローチャートである。

【図7】通信管理レポートの印刷結果の一例である。

【図8】通信管理情報の更新処理を示したフローチャートである。

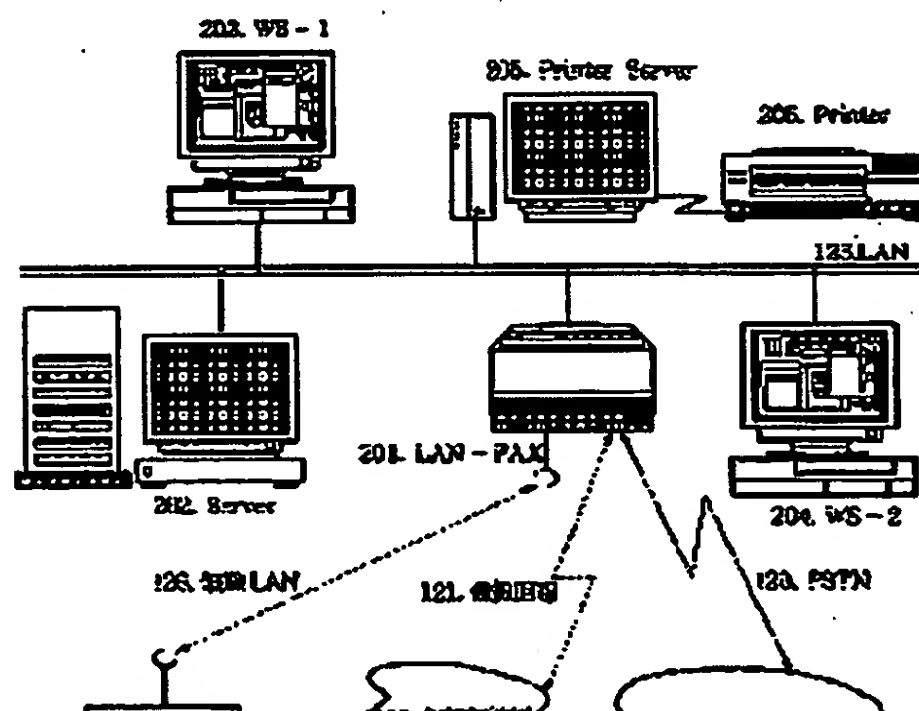
【符号の説明】

101 CPU
102 ROM
103 RAM

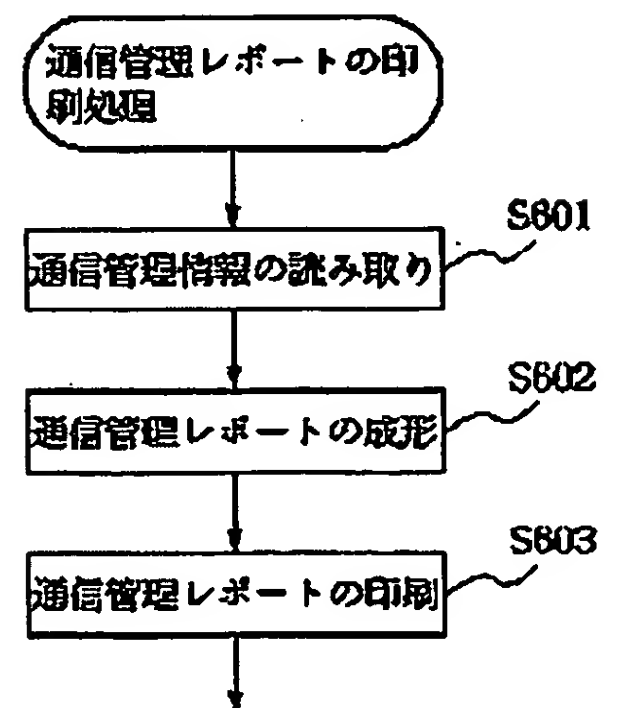
* 104 蓄積メモリ
105 解像度変換処理部
106 通信用符号化復号化処理部
107 読取/記録用符号化復号化処理部
108 MODEM
109 NCU
110 画像処理部
111 スキャナ
112 操作部
113 外部表示部
114 プリンタフォーマッタ
115 プリンタ
116 LAN制御部
117 有線回線i/f
118 無線回線i/f
119 有線/無線回線制御部
120 有線回線
121 無線回線
122 有線LANi/f
123 無線LANi/f
124 有線/無線LAN制御部
125 有線LAN
126 無線LAN

*

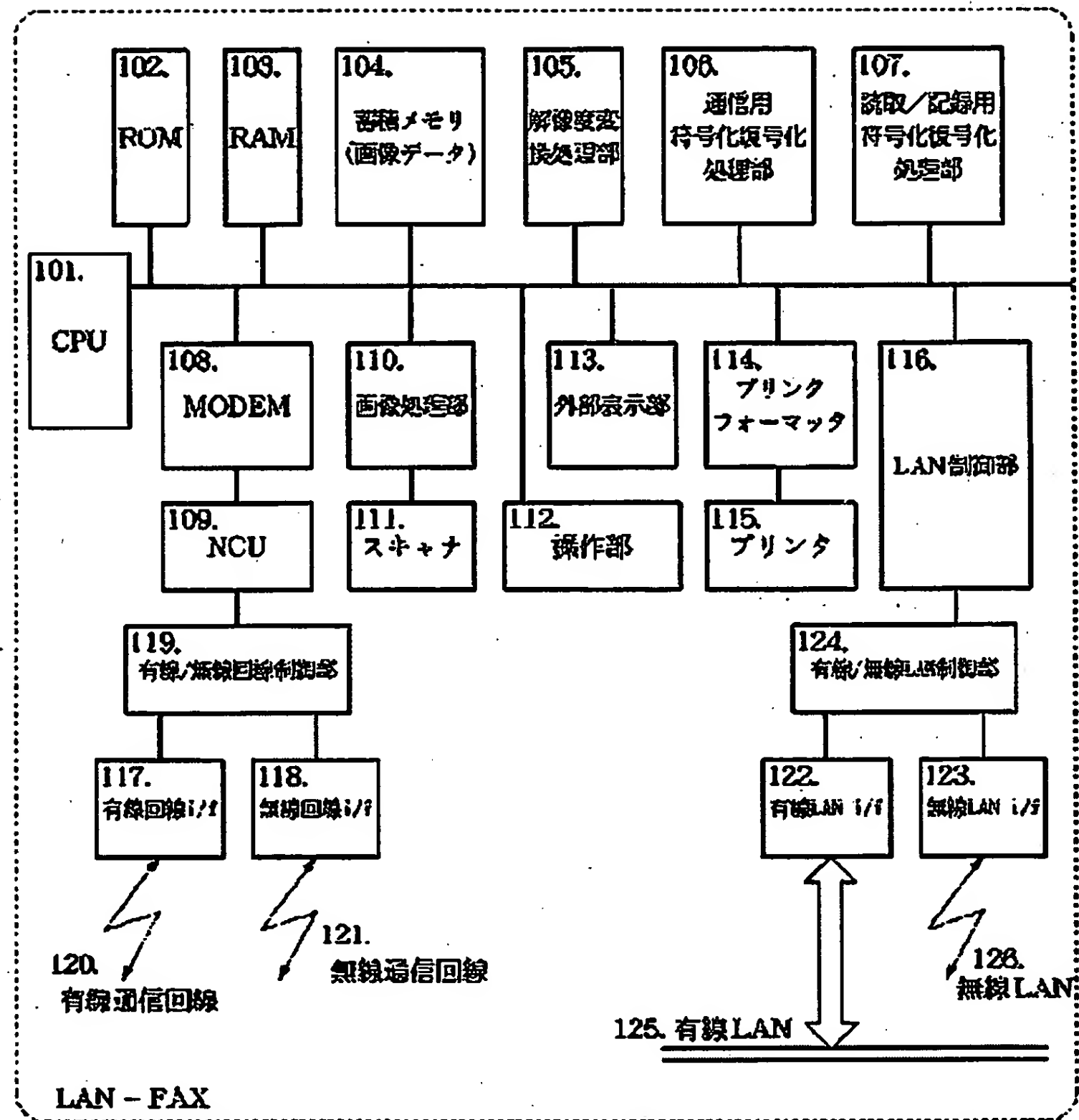
【図2】



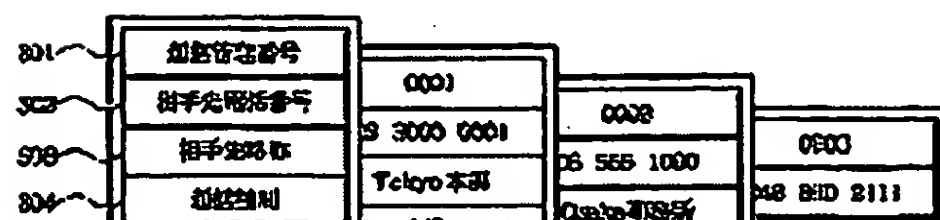
【図6】



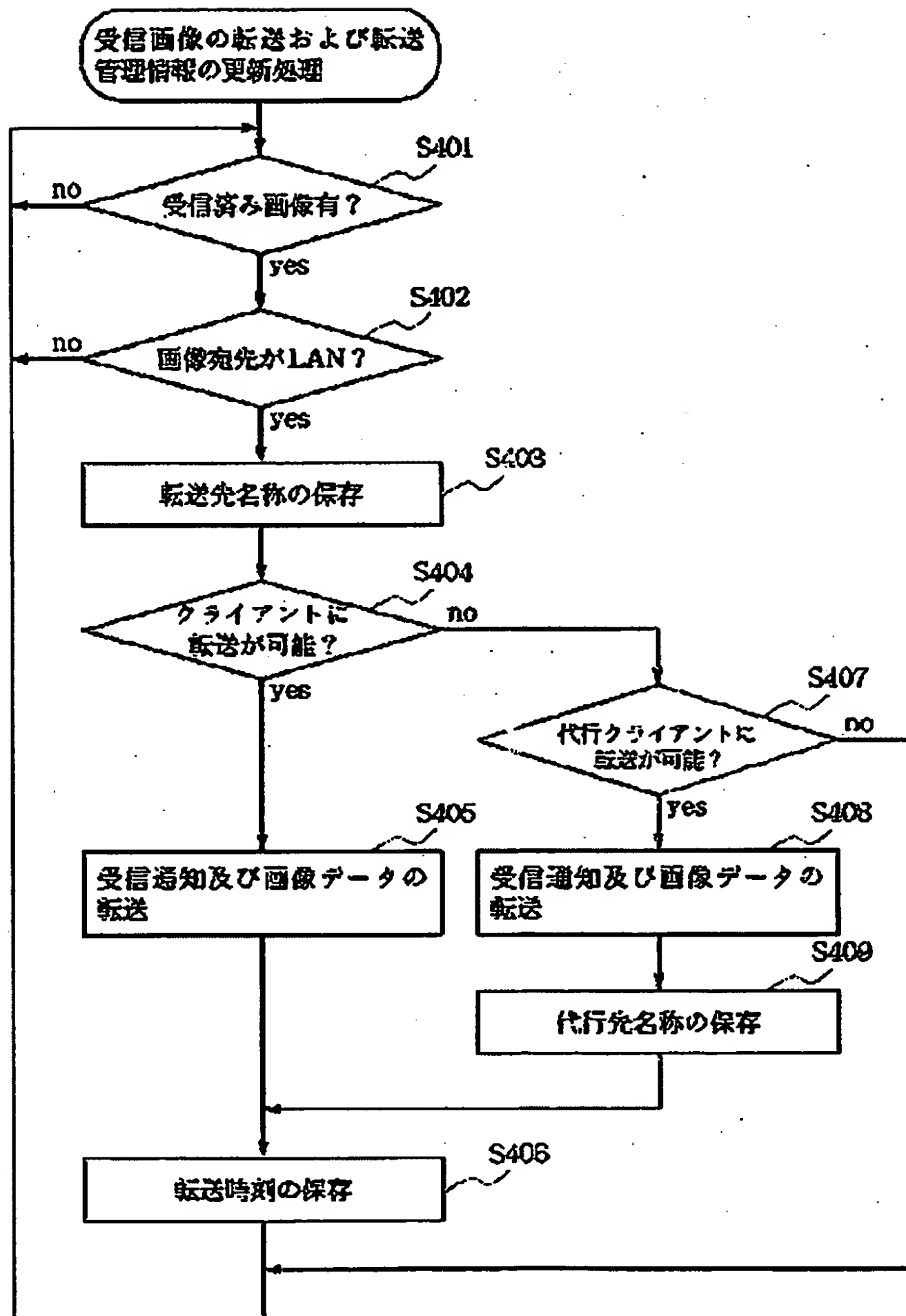
【図1】



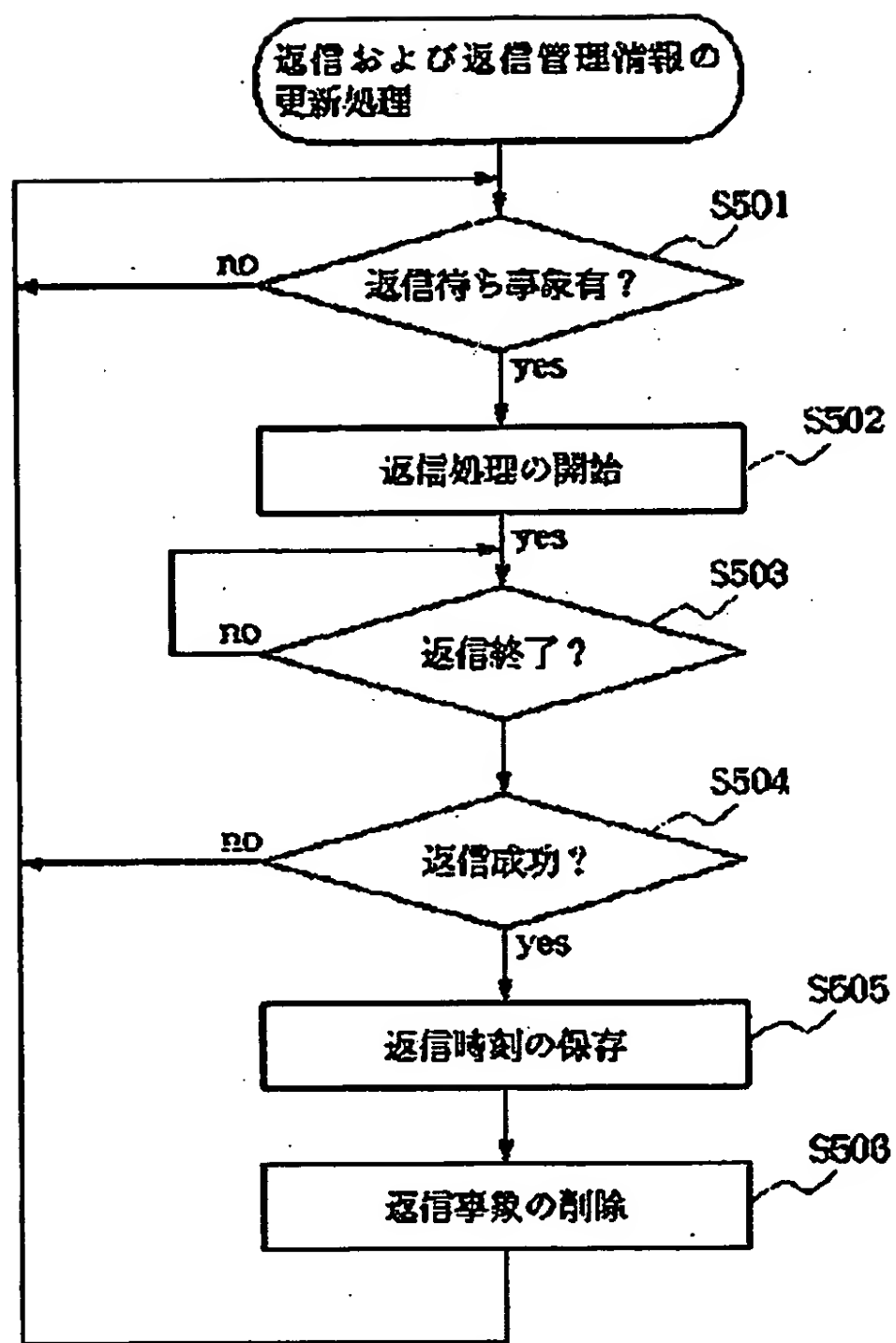
【図3】



【図4】



【図5】



通信管理レポート

通信種別	相手先電話番号	相手先住所	通信開始時刻	通信時間	ページ数	通信結果	転送元名称 (代行先名称)	転送時刻 返信時刻
M受信/LAN	03 3000 0001	Tokyo本部	'95.04/01 10:00:13	00:12:50	8	OK	yukio_a	'95.04/01 10:15:24 '95.04/01 10:20:31
M受信/LAN	06 555 1000	Osaka事務所	'95.04/01 10:55:20	00:05:10	5	OK	nokku_y (ryutaro_k)	'95.04/01 10:42:17 -
M受信	048 800 2111	Saitama出張所	'95.04/01 10:45:03	00:01:49	2	OK	-	- -
M送信	0011412550123	USA 総務部	'95.04/01 10:55:40	00:03:50	2	OK	-	- -
E/LAN	03 5000 0091	Tokyo総務室	'95.04/01 11:03:09	00:02:31	2	OK	comil_m	- -

【図 7】

(11)

【図8】

